



酒井 名朋子 (Sakai Nahoko)

東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻
2008年博士課程卒

1. 現在の仕事は？

遺伝子分析装置（次世代シーケンサー）メーカーで、**Technical Application Scientist**として装置をご使用のお客様のアプリケーションサポートをしています。

2. 社会人になって一番役に立ったことは？

博士の経験で役にたったことは

- 1) 物事を論理的に記述・説明できるようになったこと。
- 2) 専門知識（私の場合は **Genomics**）を増やせたこと。

3. 学生生活での一番の思い出は？ 又やり残して後悔したことは？

博士論文提出の後の富士山登山。

頂上はできませんでしたが、論文提出の後戦友と一緒に登れたのはとても良い思い出になりました。

やり残したことはありません。

4. 就活で一番大切なことは？

就職を急ぐあまり、自分の専門性を安売りしないこと。

適応性の高い博士学生ほど専門外の職種で就職しようとするが、やはり最終的には自分の専門性を意識して就職活動の方が自分の市場価値が上がる。

博士課程でやった研究にあまり固執して就職活動する必要はまったくないが、学部4年、3年と同じ就職活動をしなくてもよいと思う。

5. 後輩へのコメント、アドバイス等自由な意見を書いてください。

いずれは大学に戻るにしても、社会を見るというのは良い経験だと思います。

PD⇒社会人⇒PD でも良いですし、できるだけ柔軟な若いうちにいろんな経験をするのもよいかもしれません。

ただ、会社によっては博士の受け入れ態勢が不十分な場合もあります。

できるだけ、過去に博士号ホルダーをすでにある程度採用している会社をさがせるといいですね。このような会社では、会社も我々もよく働けると思います。